

消費税増税の中止を求める請願

〔請願趣旨〕

安倍首相は 2019 年 10 月から消費税を 10%に増税するとしています。今でさえ、深刻な消費不況が続いています。「賃金が減っている」「年金が減ったのに、医療も介護も負担が重すぎる」—消費税大增税路線、大企業優遇の「アベノミクス」で、格差と貧困は拡大する一方です。アベノミクスの失政は、経済と財政に深刻な影響を与えています。

いまこそ、税金の集め方、使い方を切りかえる時です。

「社会保障や財政再建のため」と国民を欺き、所得の少ない人ほど負担が重い消費税増税ではなく、巨額の富を蓄えている大富豪や大企業に応分の負担を求める税制に見直すべきです。大軍拡や大型開発中心の予算にメスを入れ、税金は社会保障、若者、子育て支援などに優先して使うべきです。そうすれば、格差と貧困を是正することができ、景気の回復にも役立ちます。その道こそ、日本国憲法を生かした経済政策ではないでしょうか。

以上の趣旨から、次のことを請願します。

〔請願事項〕

1、消費税 10%への引き上げは、きっぱり中止すること

氏 名	住 所

消費税廃止各界連絡会（取り扱い団体）

消費税は社会保障ではなく、 法人税減税の穴埋めに使われてきた!

法人税3税は29年間に291兆円も減収となりました。その不足分を補うように庶民から吸い上げられてきたのが消費税です。社会保障費や財政再建に使われてきたわけではありません。



社会保障は改悪の連続		消費税導入以前	現在 (2018年)
消費税率		0%	➔ 8%
医療	サラリーマン本人の窓口負担	1割	➔ 3割
	高齢者の窓口負担 (外来)	定額 (800円)	➔ 1割~3割
年金	厚生年金の支給開始年齢	89年時 男性60歳 女性56歳	➔ 65歳
	国民年金保険料 (月額)	7,700円	➔ 16,340円

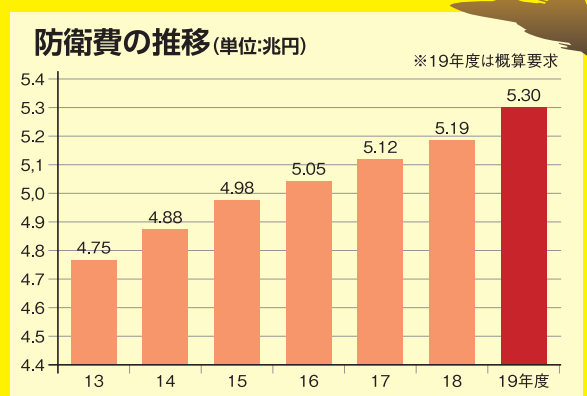
消費税10%へのアップで、 1世帯当たり8万円の負担増に 5%→8%増税時の大不況が再来!?

消費税増税による国民の負担は、「軽減」税率分を差し引いても4.6兆円に。1世帯当たりの負担は8万円にもなります。物価が上昇を続け、賃金も上がらないなか増税すれば、消費税が5%から8%になったときの「大不況」が再びやってきます!



社会保障費が削られる一方、 軍事費の要求額は過去最大。 「戦争する国づくり」に使われているのが消費税!

防衛省の来年度予算の要求額が約5.3兆円と過去最大に。消費税増税による財源で、日本は軍事大国へ突き進むようとしています。憲法を守り、防衛費の削減を求めて消費税増税を阻止しよう!



**消費税増税を
許さない!**

消費税怒りの30年! 一斉行動

「一斉行動」の詳しい内容は各界連ウェブサイトへ

消費税廃止各界連絡会

〒171-8575 東京都豊島区目白2-36-13 全商連会館内
TEL 03-3987-3230 FAX 03-3988-0820